

# 資料 1 調査票

## 東日本大震災にかかる住民アンケート ご協力のお願い

社会福祉協議会では、平成 23 年度から生活支援相談員を配置し、東日本大震災で被災された住民の方々に対する支援を行っています。

発災から 5 年が経過した現在、生活再建の中で住民の皆様がどのように暮らし、どのような困りごと等を感じておられるかをおたずねし、これからの方々への支援のあり方について検討するために、今回、このようなアンケート調査を実施することとしました。

このアンケートは、生活支援相談員が見守り・相談活動を行っている住民の皆様の名簿から、県内 1200 世帯を無作為に選ばせていただき、お願いしているものです。また、ご回答いただいた内容は、統計的に取り扱いますので、回答いただいた個人が特定されることはありません。

つきましては、大変お手数をおかけしますが、アンケートの回答にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 【回答いただきたい方】

ご家族の中で、20 歳以上の方全員にご回答をお願いします。

### 【記入方法】

質問ごとに、あてはまるもの 1 つに○をしてください。

(一部、複数回答の質問があります)

### 【回答】

おひとりずつ、返信用の封筒に入れて、10 月 20 日（木）までにポストに入れてください。切手はいりません。

### ＜実施主体＞

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

〒020-0831 盛岡市三本柳 8 地割 1 番 3

TEL : 019-637-4421 FAX : 019-637-7592

### ＜協力＞

各市町村社会福祉協議会、もりおか復興支援センター

岩手県復興局生活再建課、岩手県保健福祉部地域福祉課

### ＜お近くの問い合わせ先＞

各市町村社協・もりおか復興支援センターの住所、電話番号を記載

問1	あなたは、今、体の調子は良いですか。				
答え	1.良い	2.まあ良い	3.ふつう	4.少し悪い	5.悪い

問2	あなたは、体の調子をととのえるために、運動や食事など、心がけていることがありますか。				
答え	1.ある	2.少しある	3.どちらでもない	4.あまりない	5.ない

問3	あなたは、毎日の暮らしに、楽しさや生きがいを感じますか。				
答え	1.感じる	2.まあ感じる	3.どちらでもない	4.あまり感じない	5.感じない

問4	あなたは、今の家計をどのように感じていますか。				
答え	1.ゆとりがある	2.少しづゆとりがある	3.なんとかやつていける	4.少し厳しい	5.厳しい

問5	あなたは、今後(だいたい5年後)、家計が良くなると思いますか。				
答え	1.良くなる	2.まあ良くなる	3.変わらない	4.少し悪くなる	5.悪くなる

問6	あなたは、今住んでいる地域(自治会・町内会の範囲)の暮らしやすさに満足していますか。				
答え	1.満足	2.まあ満足	3.ふつう	4.少し不満	5.不満

問7	あなたは、今後(だいたい5年後)も、今住んでいる地域(自治会・町内会の範囲)に住み続けたいですか。				
答え	1.住み続けたい	2.まあ住み続けたい	3.どちらでもない	4.あまり住み続けたくない	5.住み続けたくない

問8	あなたは、家族(同居・別居を問いません)との関係はよいですか。				
答え	1.よい	2.まあよい	3.ふつう	4.あまりよくない	5.よくない

問9	あなたは、家族や友人・知人、ご近所など身近な人から手助けを受けたり、困りごとの相談にのってもらうことがありますか。				
答え	1.ある	2.ときどきある	3.どちらともいえない	4.あまりない	5.ない

問10	あなたは、困っている人に手助けをしたり、困りごとの相談にのることがありますか。				
答え	1.ある	2.ときどきある	3.どちらともいえない	4.あまりない	5.ない

問 11	あなたが、ふだん、最もたくさん顔を合わせて話をする人(同居の人を除きます)は誰ですか。最も多い人を選び、1つだけ○をつけてください。				
答え	1.別居親族		2.相談員や行政・介護サービス事業所等の支援者		3.買い物先などお店の人
	4.勤め先や学校の人	5.趣味仲間など友人・知人	6.近所の人	7.ほとんどいない	

問 12	あなたは、問 11 で選んだ人とは、どのくらいの頻度で話をしますか。					
答え	1.毎日	2. 2~3 日に1回	3. 1週間に1回	4. 2週間に1回	5. 1か月に1回以下	6.「ほとんどいない」を選んだ

問 13	あなたは、ご近所や周辺の地域の方と、どのように関わりを持ちたいですか。				
答え	1.自分から声をかけて関わりたい	2.声をかけられたら関わる	3.どちらともいえない	4.あまり関わりたくない	5.関わりたくない

問 14	あなたは、今の暮らしに満足していますか。				
答え	1.満足	2.まあ満足	3.ふつう	4.少し不満	5.不満

問 15	あなたは、将来(だいたい 5 年後)、今の暮らしが良くなると思いますか。					
答え	1.良くなる	2.まあ良くなる	3.変わらない	4.少し悪くなる	5.悪くなる	6.分からぬ

【社会福祉協議会(社協・しゃきょう)の生活支援相談員の活動について、おたずねします。】

※ 盛岡市では、もりおか復興支援センターの生活支援相談員。

※ ひだまりセンター、オレンジベストの人、などと言われている市町村もあります。

問 16	あなたは、生活支援相談員が被災者のための活動をしていることをご存知ですか。生活支援相談員の活動について、知っているものすべてに○をつけてください。				
答え	1.ご自宅への訪問	2.心配ごとや手続きなどの相談	3.サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	4.イベントの開催やお手伝い	5.知らない

問 17	あなたは、生活支援相談員による活動があつてよかったですと思うことがありましたか。				
答え	1.あつた	2.まああつた	3.どちらでもない	4.あまりない	5.ない

問 18	あなたは、今後、生活支援相談員に被災者のための活動をしてもらいたいと思いますか。してもらいたいと思うものすべてに○をつけてください。				
答え	1.ご自宅への訪問	2.心配ごとや手続きなどの相談	3.サロンなど近所で集まる会合のお手伝い	4.イベントの開催やお手伝い	5.とくにない

【ここからは、あなたについて、おたずねします。】

問 19	あなたの性別を教えてください。	
答え	a.男	b.女

問 20	あなたの年齢を教えてください。						
答え	a.20 代	b.30 代	c.40 代	d.50 代	e.60 代	f.70 代	g.80 代以上

問 21	あなたは、何人で暮らしているか教えてください。			
答え	a.1 人暮らし	b.2 人暮らし	c.3 人暮らし	d.4 人以上

問 22	あなたの状況にあてはまるものを教えてください。あてはまるものすべてに○をしてください。			
答え	a.18 歳以下の子どもを1人で育てている	b.自分または同居人の中に障がい者手帳を持っている人がいる	c.自分または同居人の中に要介護 1~5(要支援 1・2 を除く)の人がいる	d.いずれもあてはまらない

問 23	あなたが、東日本大震災の時に住んでいた市町村または県を教えてください。				
答え	a.洋野町	b.野田村	c.久慈市	d.普代村	e.田野畠村
	f.岩泉町	g.宮古市	h.山田町	i.大槌町	j.釜石市
	k.大船渡市	l.陸前高田市	m.宮城県	n.福島県	o.その他

問 24	あなたの今の住まいを教えてください。			
答え	a.応急仮設住宅	b.みなし仮設住宅	c.災害公営住宅	f.その他
	d.東日本大震災で被災した後に再建した住宅(修繕、新築、購入など)	e.東日本大震災前と同じ住宅		

問 25	被災者の支援について、ご意見等がありましたらお書きください。 ※ いただいたご意見については、今後の活動の参考にさせていただきます。
答え	

これで質問はおわりです。ご協力、ありがとうございました。

## 資料2 東日本大震災被災者実態調査研究委員会

### (1) 設置要項

#### 平成28年度東日本大震災被災者実態調査研究 調査研究委員会設置要項

##### 1 目的

東日本大震災による被災者の実態を把握し、被災者が安心した暮らしを取り戻せるためにどのような支援が必要とされるのか、生活支援相談員等被災者支援の方向性について研究することを目的に、本調査研究委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

##### 2 委員会の役割

委員会は、次の内容を調査、研究する。

- (1) 被災者の実態を把握すること
- (2) 被災者支援の方向性について研究すること
- (3) その他、上記の目的を達成するために必要な事項

##### 3 委員会

- (1) 委員会委員は次の各項から、岩手県社会福祉協議会会长が委嘱する。
  - ア 学識経験者
  - イ 市町村社会福祉協議会職員
  - ウ その他、会長が必要と認めたもの
- (2) 委員の任期は、委嘱の日から平成29年3月末日までとする。
- (3) 委員会には、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。
- (4) 委員長は、委員会を統括する。副委員長は委員長を補佐し、委員長が欠けた場合には、委員長を代行する。

##### 4 作業部会

- (1) 委員会の中に作業部会を置くことができる。
- (2) 作業部会委員は、委員会委員の中から、委員長が指名する。
- (3) 作業部会は、委員会の役割を迅速に推進するため、課題の整理、調査票の作成、調査結果の分析等、必要事項を検討する。

##### 5 会議

委員会及び作業部会は、必要に応じて岩手県社会福祉協議会会长が招集し、委員長が議長となる。

## 6 事務局

事務局は、岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部コミュニティ振興グループが担当する。

附則 本要項は、平成 28 年 4 月 11 日から施行する。

### (2) 委員名簿（敬称略）

田中 尚	岩手県立大学社会福祉学部社会福祉学科教授	*委員長
石木 幹人	陸前高田市国民健康保険二又診療所所長	
船戸 義和	岩手大学三陸復興推進機構地域コミュニティ再建支援班特任研究員	*副委員長
加藤 静香	釜石ひまわり基金法律事務所所長	
池田 昌弘	特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長	
瀧澤 恵	大槌町社会福祉協議会総務課長	
佐々木 伸子	宮古市社会福祉協議会生活支援相談員主任	
伊勢 あや子	大船渡市社会福祉協議会生活支援相談員主任	
佐々木 和哉	岩手県保健福祉部地域福祉課生活福祉担当課長	
前川 貴美子	岩手県復興局生活再建課相談支援担当課長	

### (3) 委員会開催経緯

- 第 1 回 平成 28 年 6 月 3 日(金) いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- 第 2 回 平成 28 年 7 月 22 日(木) 釜石市保健福祉センター
- 第 3 回 平成 28 年 12 月 26 日(金) ふれあいランド岩手
- 第 4 回 平成 29 年 2 月 17 日(金) ふれあいランド岩手

### 執筆者一覧

石木 幹人	・・・ 第 I 部第 3 章○医療的視点
加藤 静香	・・・ 第 I 部第 3 章○法律的視点
船戸 義和	・・・ 第 I 部第 3 章○沿岸被災地でのコミュニティ形成支援の視点
池田 昌弘	・・・ 第 I 部第 3 章○全国における被災者支援の視点
田中 尚	・・・ 第 I 部第 3 章○本調査研究の総括的視点・生活支援相談員活動の今後の方向性
佐々木 和哉	・・・・・ 第 I 部第 4 章
前川 貴美子	・・・・・ 第 I 部第 4 章
岩手県社会福祉協議会	・・・ 第 I 部第 2 章、第 5 章

